



株式会社 ゴールドシップ
代表取締役

橋本 栄松

静岡県で農業を営む家に生まれ育つ。大学卒業後は会社員としてさまざまなビジネスのノウハウを学び、北海道をはじめ、全国各地で人脈をつくる。2009年頃から愛知県名古屋市に移住。飲食事業などを手掛けていたが、建設業に挑戦することに。自身も現場経験を積んだ後、2012年に(株)ゴールドシップを設立した。

建設・農業を中心に多分野の事業を展開 人との出会いを基に、挑戦し続ける経営者

2012年に設立された(株)ゴールドシップは、建設業をはじめ、廃油のリサイクル、美容、農業など多様な事業を展開する会社だ。同社の橋本社長が大切にしている「人との出会い」と、それをビジネスにつなげる経営力に、タレントの水野裕子さんが迫った。

建設を軸にした多岐にわたる事業展開

水野 まずは、御社の事業内容について教えてください。

橋本 メインで手掛けているのは建設事業ですが、船などの廃油を回収し、再生油として販売する事業や、美容商材の販売事業、最近では農業に関する事業にも力を入れています。建設を軸として、そこから人とのつながりを辿って他分野に広がっていったという形です。

水野 建設にはもともと携わっていらっしやったのですか？

橋本 いえ。以前は異業種を手掛けていましたが、建設の仕事に挑戦したいと考え、一から学んできました。やはり自分が学んだり経験したりしていないと、職

人に指示も指導もできませんし、周囲からの信頼も得られないもの。そこで、まずはマンションなどの建物の清掃を自分で請け負うことにしたんです。それをしばらく続けるうちに、人脈も増えていき、いろいろな依頼を請け負えるようになりました。そして今は、リフォームやリノベーション、電気・水道工事、クリーニングなど幅広い施工を行っています。

水野 それだけ多岐にわたる業務をされるのは容易なことではないと思います。

橋本 単純に、お客様から「こういうことはできるの？」と聞かれたら、私の場合、まず「できます」と答えるんです。そこから、実際にやるためにはどうすれば良いかを考えて、道筋をつけていきます。とはいえ、全く突拍子もないことを

やろうとは思っていません。今の自分が持っているものと、その仕事をした上でどういう成果が得られるのかを計算しながら取り組んでいきます。

日本の農業を支える流通を開拓

水野 並々ならぬバイタリティと挑戦心をお持ちですね。また、農業も手掛けていらっしゃるようで、私も栄養学を学んでいるのでとても興味深いです。

橋本 私の実家が浜松で代々続く農家なので、幼い頃から農業が身近にあったんです。実家ではじゃがいもを中心に、さまざまな野菜を栽培しています、その販売を担うのが私の役目です。通販サイトを開設したり、お付き合いのある愛知県内の経営者の方々にもご協力頂いたりして、新しい流通を起こせるように奮闘しています。

水野 素晴らしい取り組みですね。昨今、世の中の食に対する意識が高まりつつありますから、農家がつくった美味しくて体に良い作物が、きちんと評価されて売れていく仕組みがもっと整ってほしいと常々思っていました。

橋本 おっしゃる通りです。私も農業を間近で見てきたからこそ、その苦勞も分かりますし、もっと力になれることがあるのではないかと考えていたんです。農業は、これからの日本にとって非常に大事な分野です。まだ構想段階ですが、ゆくゆくは実家の農園を法人経営にするなどして、後進を雇い、技術を継承してい

Focus on the topic

**部分工事から全改装まで
技術を生かして幅広く対応**

(株)ゴールドシップによるリフォーム・リノベーションの施工事例。住宅をはじめ、店舗やオフィス、マンションなどさまざまな建物の工事を手掛けている。工事内容も、部分的なリフォームから改装工事、フルリノベーションまで、顧客の要望に合わせて対応可能だ。



ける環境も整備したいと考えています。

人との出会いをビジネスチャンスに

水野 では、その他の事業はどういったきっかけで着手されたのでしょうか。

橋本 廃油回収・再生油販売は、叔父が手掛けている事業に興味を持ち、この会社の設立前から長く続けてきました。従来はお金を掛けて廃棄していた船の油を買い取ってリサイクルするという事業ですから、環境に優しいだけでなく、船舶を持つ方々にも喜んで頂いています。

それから美容商材の販売は、前職でお世話になった美容商品開発を行う会社の社長とご縁で実現したもので、知り合ったのは札幌でしたが、名古屋で再会を果たし、商品を卸して頂けないか、こちらから相談を持ち掛けました。海外を拠点に活動される経営者の方のお付き合いも増える中で、その人脈を生かし、当社でも海外に向けてアピールできる事業

ができないかと思っていたんですね。
水野 なるほど。本当に社長ご自身が行動してきた結果が、今の事業の幅につながっているのですね。

橋本 動けば動いただけ人と出会えますし、それが全てチャンスになると思っていますから。関わる方全員の、満足と感謝、感動を生むものを提供する、というのが当社の理念。それを実現するために、臆せずチャレンジしていくつもりです。

水野 今後がますます楽しみです。具体的なビジョンはありますか？

橋本 建設で言うと、新築戸建ての建築を手掛け始めたところなので、その事業を軌道に乗せていきたいですね。そして農業に関しては、干し芋などの加工品を多くつくり、売り出していこうかと。生の野菜と違って、シーズンや天候などに左右されずに販売できますからね。そうして、販売経路をしっかりと確保しながら、創出した流通を後世に残していけるよう、努めてまいります。

Company Data>>



株式会社 ゴールドシップ

【本社】〒485-0016
愛知県小牧市間々原新田 560-1
【営業所】〒481-0004
愛知県北名古屋市鹿田坂巻 139
【静岡農業用物流倉庫】〒433-8116
静岡県浜松市中区西丘町 375
URL <http://www.gold-ship.net/>



Guest Comment>>

水野 裕子 (タレント)

自身を1つの分野にカテゴライズせず、多様なビジネスに挑戦していらっしゃる橋本社長。先を読む冷静沈着さと、アグレッシブに動く情熱の両方を持ち合わせた方だと感じました。社長の姿は、いろいろなことにチャレンジしたいけれど一歩が踏み出せない、という経営者の方々に勇気を与えるものだと思います。私も陰ながら、社長の今後のご活躍を応援しています！

